

第 9 期介護保険料（案）について

保険料の検討について

第9期計画の保険料について (P. 80~85 抜粋)

(1) 第9期の保険料に影響を与えるもの

- ・ 介護報酬のプラス改定 (+1.59%)
- ・ 第8期計画において、介護施設2か所整備

(2) 保険料の算定方法 (P. 83)

- ・ 算定方法はフロー図のとおり

(3) 介護給付費準備基金について (P. 80)

- ・ 介護保険事業計画期間の保険料の収支を調整するために設置している
- ・ 介護保険サービスの利用実績 (P. 61~62) のとおり、第8期計画の達成率が低い事業もあり、令和3年度、令和4年度においては保険料に剰余金が出たため、積み立てにより基金保有額が増加。

《介護給付費準備基金の保有額》

事業計画	年 度	基金保有額
第7期	平成30年度	615,603,951円
	令和元年度	579,740,699円
	令和2年度	492,565,568円
第8期	令和3年度	549,494,760円
	令和4年度	615,593,509円
	令和5年度(見込み)	647,559,385円

(4) 第9期計画の保険料について (P. 84)

○事務局案：基準額6,100円(±0円)

- ・ 基金を3年間で193,000千円取崩し、保険料上昇を抑制する。
- ・ 第10期以降の保険料上昇を見越して、計画的に基金を取り崩す。